



# Kumasan



平成29年6月19日  
学校だより 第4号  
熊野第三小学校  
校長 平岡 弘資  
HP <http://kuma0316.ec-net.jp>

## ☆挨拶についての一考

梅雨に入りましたが、毎日の晴天。暑い日が続いています。こんな中でも子供たちは元気いっばいに運動場で遊んでいます。子供たちのパワーはすごいです。パワーといえば今年もカープのパワーはすごいですね。少しぐらいの点差なら逆転するだろうと思ってしまいます。最後まであきらめない気持ちが伝わってきます。子供たちにもぜひ見習ってほしいと思います。先日、昨年私とのカープ談議で日本ハムとの日本シリーズについて見事な予想をした3年男子が、めちゃくちゃうれしそうな顔で、「昨日カープ見に行ったよ。誠也のサヨナラホームラン見たよ！」と話してくれました。

「延長12回まで見たの？眠くなかった？」3年男子「ぜんぜん。最後まで見た。気持ちよかった！」うれしそうな笑顔を見ているだけで、こちらもうれしく幸せな気持ちになりました。最近、子供たちがカープの試合を見に行った話をよくしてくれます。なんでそんなにチケットが手に入るんだろう・・・と羨ましくなります。

さて、今回は挨拶について少し考えてみました。挨拶の目的はいろいろあります。日常的に家族、友だちや先生とする挨拶、どこかを訪問した時やお客様に対して行う挨拶など。今回は日常的な挨拶についてです。先日5年生の運営委員が朝の正門で挨拶運動をしていました。前回号でも紹介しましたが、1年生が丁寧な挨拶を毎朝してくれます。この日も正門に立っている私に頭を下げて「校長先生、おはようございます。」と挨拶をしてくれました。とても気持ちの良い挨拶です。その後、運営委員が挨拶すると1年生は少しびっくりしたような表情で通り過ぎました。運営委員の子が「校長先生には挨拶するのに、なぜしてくれないんだろ。」と言っていました。おそらくこれまでにない急な出来事だったのでびっくりしたのが先だったのでしょう。子供ってそんなものだと思います。以前地域の方から、「熊三小の子供たちは朝の挨拶はちゃんとしてくれますよ。ただ下校の時におかえりと言っても返事がないんですよ。」と言われたことがあります。子供たちに「ただいま」の習慣がないのか、急なシチュエーションに驚いているのか・・・いろいろと考えたが、やはり日常的な挨拶の習慣化が大切なのでしょう。普段から家庭のなかで「おほよう、おやすみなさい、いただきます、ごちそうさまでした、行ってきます、ただいま・・・」など習慣にすることが大切です。地域の方へもそのような挨拶を習慣化することが大切。それには、まずは私たち大人が挨拶を習慣化することがいるのでしょう。私事でこの年になると昔のことはよく忘れるのですが、記憶に残っている一つに小学校1年生の頃のことで、毎朝玄関先で「行ってきます。」への「いってらっしゃい。」がないと、あるまで何度も「行ってきます。」を言っていたことを覚えています。その時の気持ちは覚えていませんが、なにか思いがあったのでしょうか。挨拶の習慣化に向けて、学校の職員も頑張っていこうと思います。家庭でも地域でもご協力をよろしくお願いします。学校で、家庭で、そして地域で、そこにいるみんなが、日常的に気持ちの良い挨拶をし合える。そんな文化ができることが私の目標です。

## ☆ 教頭先生のつぶやき

最近、学校の中を見回っていて、児童の皆さんに考えてほしいことがあります。下の写真① ②は、どちらが次の人のことを考えて、サンダルを脱いでいるのでしょうか？ 考えてみましょう。

①



②



## ☆ 熊三モジュール

今年度、新たな取組として、13:30～13:45の15分間「熊三モジュール」をしています。発声練習や音読、フラッシュカード、100マス計算やプリントなど様々な学習を繰り返し行っています。スピード・テンポ・タイミングを大切にすることで、児童一人一人が常に集中して学習に取り組むことができるようになることを目指しています。



## ☆ 低学年書道科

熊野町独自の取組で、1・2年生が書道をしています。姿勢・筆の持ち方・始筆・送筆・終筆などについて、中学校の先生に来ていただいて、学習をしています。



※ 裏面に、7月の行事予定を掲載しています。